NAME

getamu – GETA Miscellaneous Utilities

SYNOPSIS

```
#include <geta/getamu.h>
```

DESCRIPTION

getamu は GETA で用いられる雑多なユーティリティー関数とマクロを提供する．個々の関数の詳細な仕様はそれぞれの manpage で説明する．

次節の関数リストで説明に * が付いている関数やマクロは GETA で使用しているが, platform によっては標準ライブラリにより提供されておらず, GETA で再定義しているものである．特に snprintf と vsnprintf は本来の仕様とは異なっているため, GETA を新たな platform に移植する際で, これらを用いる必要が生じた場合には注意されたい．

qsort は unstable sort であり, 特に比較関数とデータが同じでも platform が変わるとソート結果が変わることがある．getamu で qsort が再定義されている理由は(特にデバッグに不都合な)そのような性質を避けるためであり, 利用者の都合により platform が提供する qsort を使用しても多くの場合問題は無い．なお, identical ではない2つのオブジェクトについて常に 0 以外を返す様な比較関数を用いるのであれば, qsort のこの性質は問題にならない．

bsearch3 と qsort3 はそれぞれ bsearch と qsort の変種で, 比較関数の第3引き数として, (比較関数の次に追加された) bsearch と qsort の最後の引き数がそのまま渡る様になっている．この引き数は, 主として比較関数がベースポインタとして用いられることを想定している．

LIST OF FUNCTIONS

Function	Description
bdup	メモリのコピーを作成
bsearch3	ソートされた表をバイナリサーチする(BP渡し版)
lchop	文字列末の改行文字を取り去る
chop	文字列末の改行文字を取り去る
cchop	文字列中の指定された文字以降を取り去る
crc	チェックサムを計算
crc2	チェックサムの続きを計算
bndry	整数をある整数境界に引き上げる(ceiling の様なもの)
qsort	クイックソート関数
qsort3	クイックソート関数(BP渡し版)
snprintf	* sprintf と同じ (manpage 無し)
vsnprintf	* vsprintf と同じ (manpage 無し)
split	文字列を分割する, 結果を可変引き数で渡す
splitv	文字列を分割する, 結果を配列に入れる
strip	文字列の先頭の空白文字を取り去る
isspaces	文字列が空白文字のみから構成されいるかどうかのテスト
subst	部分文字列の置換
nelems	配列の要素数を返すマクロ (manpage 無し)
timersub	* timersub と同じ (manpage 無し)